

# 芹澤日耀先生 略年譜

- 大正二年（一九一三） 一月五日（戸籍は一五日）、静岡県駿東郡小山町にて、父芹澤泰詮（本蓮寺第三十六世）、母いさの長男として誕生。戸籍名は寛哉。
- 同 八年（一九一九） 四月、小山町立成美小学校に入学。
- 同 十三年（一九二四） 十月一五日、光長寺第五七世日舜聖人を師として得度。同年一二月、大本山光長寺に入寺昇堂。
- 同 一四年（一九二五） 三月、成美小学校を卒業。
- 同 年 四月、静岡県立沼津中学に入学。
- 昭和五年（一九三〇） 三月、同校を卒業。
- 同 年 四月、立正大学予科に入学。
- 同 年 四月二八日、僧籍登録。
- 同 八年（一九三三） 三月、立正大学予科を卒業。
- 同 年 四月、同校文学部哲学科に入学。
- 同 一一年（一九三六） 三月、同校を卒業。引き続き研究室に助手として残り、哲学の研究に従事。
- 同 一二年（一九三七） 九月、本門法華宗学林専攻科に入学。
- 同 一三年（一九三八） 三月、同校を卒業。

同 年

一二月、立正大学の研究室勤務を退職。

同一四年（一九三九）

二月、宣撫班に採用され中国（北京）に渡る。その後結核に罹り、昭和一七年秋より一九  
年一月まで本籍地にて療養。

同一八年（一九四三）

一二月四日、飯盛山本蓮寺第三七世住職に就任。

同一九年（一九四四）

二月、応召にて再び中国へ渡る。現地で終戦を迎え、その後帰国の準備に追われる。

同一二年（一九四六）

二月、本土（九州）に帰国。本蓮寺住職の職務に励む。

同一四年（一九四九）

四月、立正大学哲学科講師として就職。

同一八（一九四九）頃

立正大学講師より日本大学（三島校舎）の講師に転勤。以後病気で倒れる昭和五二年三月

迄勤務。

同一一年（一九五六）

一二月一日、宗門史編纂主任委員に就任。

同一七年（一九六二）

二月一三日、教学審議会委員に就任。

同一八年（一九六三）

六月一日、教学研究所所員に就任。

同一四年（一九六九）

六月一日、教学審議会委員を退任。

同一一年（一九七六）

一月八日、宗務総長「法華宗（本門流）代表役員」に就任。

同一三年（一九七八）

一月八日、宗務総長を退任。

同一〇年（一九八五）

九月五日、教学研究所所長に就任。同時に教学審議会委員に就任。

同 年

一二月一四日、法華宗興隆学林長に就任。

平成元年（一九八九）

三月三十一日、宗門史編纂主任委員を退任。

- 平成三年（一九九二）三月二十四日、本蓮寺住職を退任。
- 同 年 三月三十一日、興隆学林長ならびに教学審議会委員を退任。
- 同 年 六月一日、小山教会担任に就任。
- 同 四年（一九九二）十月一日、法華宗審査局員に就任。
- 同 五年（一九九三）九月、教学研究所所長を退任。
- 同 九年（一九九七）五月一日、小山教会担任を退任。
- 同 一二年（二〇〇〇）三月三十一日、法華宗審査局員を退任。
- 同 一四年（二〇〇二）一月五日、遷化。法寿九十歳。